



<報道関係各位>

2014年7月10日

一般社団法人 日本化学工業協会

日化協 環境・安全分野の取組み

## 『保安事故防止ガイドライン（普及版）』作成のご案内

一般社団法人 日本化学工業協会（以下、日化協）は、このほど昨年4月に刊行しました『保安事故防止ガイドライン』の補助教材として『保安事故防止ガイドライン（普及版）』（以下、当教材）を作成しましたのでお知らせいたします。

化学業界では、残念ながらここ数年間大きな事故が継続して発生しています。この事態に対し、日化協では保安事故防止検討ワーキンググループを立ち上げ、保安事故防止に関する取り組みを進めてきました。その一環として、石油化学工業協会、石油連盟、化成品工業協会等、関連の深い業界団体をはじめ、学識経験者の方々にご意見をいただきながら事故事例を徹底検証し、昨年4月に『保安事故防止ガイドライン』を刊行しました。刊行直後から、日化協会員、関連官庁、ご要請のあった外部の団体等に対し、説明会や意見交換会を実施したところ、現場の人材育成・技術伝承の観点から「保安事故防止ガイドライン」の補助教材作成への強いご要望をいただき、当教材の作成に至りました。

当教材の配布により、『保安事故防止ガイドライン』の一層の活用の促進と理解度の向上を図ることで、化学業界全体の保安力や労働安全衛生活動のレベルアップをめざします。

### 『保安事故防止ガイドライン（普及版）』の概要

当教材は3例の事故事例の検証結果をもとに、そこから得られる教訓をまとめたものです。まず、「事故事例説明映像」でどのような事故が起きたのかを確認していただいたうえで「事故防止のための重点点検項目表」を各社の実情に合わせて、設備や体制の見直し時における安全評価、プラントの安全チェック・リスク抽出、人材育成等に広く活用していただく内容となっています。

#### 1. 事故事例説明映像（DVD）全3巻

事故が起きた設備の説明から、どのような経緯で事故が発生したか、そこから得られた教訓は何かをわかりやすく解説しています。事故の実態を理解していただくことを目的としています。

#### 2. 事故防止のための重点点検項目表

『保安事故防止ガイドライン』の重点点検項目について、事故原因ごとに『保安事故防止ガイドライン』で使用した7大要素で分類し再整理したもので、事故事例説明映像に見られた問題点に対して点検していただきたい項目をまとめたものです。また、点検時の着眼点や項目を取り上げた趣旨や理由など、解説を加えています。

※希望される日化協会員会社に1セットを無償にて提供いたします。また、非会員の組織・機関には有償（¥6000/1セット）にて提供いたします。

<<本件に関するお問い合わせ先>>

一般社団法人日本化学工業協会 広報部 大西 TEL:03-3297-2555